

その他の附帯事業・主な取組

広告事業

■ 車体広告

ポロクルの車体広告は「動く広告」。走っていても停まっても視線を集め、PR効果は抜群です。健康や環境にやさしい自転車で、札幌のまちづくりにも貢献するポロクル。その想いに共感し、SDGsやCSR活動の一環として広告掲出を選ばれる企業が増えています。2024年度はリクルート活動を目的とする企業も含め、8社の広告を掲出しました。

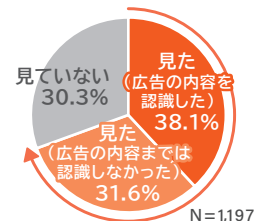


※50音順

広告掲載企業

- 株式会社朝日新聞社 様
- 伊藤組土建株式会社 様
- 岩田地崎建設株式会社 様
- DOこれ 様
- 東日本高速道路株式会社 様
- 北電総合設計株式会社 様
- 前田建設工業株式会社 様
- 前田道路株式会社 様

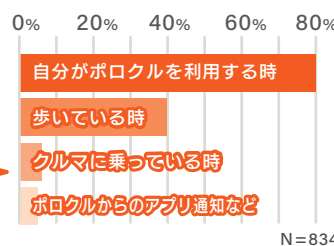
Q.ポロクルの車体広告を見たことがありますか？



ポロクルユーザーの約7割の方が車体広告を見ています。

ポロクルを利用しているときだけでなく、街を歩く人へも訴求力があがるのがうかがえます。

Q.どこで広告を見ましたか？



■ 特別仕様車

環境問題や北海道のミライについて考えるきっかけづくりとして、ポロクル特別仕様車「GEWEX号」※1 (ウォーターブルー号)、「第9期北海道総合開発計画号」※2 を各1台ずつ導入しました。

※1 世界各国から、該当分野で国際的に活躍する研究者が集結し、地球規模のエネルギーや水の挙動に関する最新の研究成果を共有して議論をする国際会議

※2 北海道の資源や特性を活かして国の課題解決に寄与するとともに、地域の活力ある発展を図ることを目的に閣議決定される計画



▲ GEWEX号 (6月1日～7月12日)



▲ 第9期北海道総合開発計画号 (6月1日～11月15日)※2025年も継続

日本シェアサイクル政策研究会への参画

ポロクルは、民間事業者を中心として構成された「日本シェアサイクル政策研究会」に参画しています。2024年7月に同研究会では、我が国のシェアサイクル事業のさらなる発展を目指して「公共交通に対するシェアサイクルの位置づけを明確化すること」、「自転車関連事故の削減を目的とした取組を推進すること」を柱とした政策提言を国土交通大臣政務官へ手交しました。



▲ 国土交通大臣政務官へ手交



▲ 政策課題ワーキンググループ

国際交通安全学会(IATSS)2024年度学会賞(業績部門)受賞!

「シェアサイクルで街をささえひとがそだつ～札幌市での自転車文化の鼓動～」と題し理想的な交通社会の実現に寄与することを目的として1974年に制定された賞を受賞しました。ポロクルがシェアサイクル関連事業を通じて、まちづくり・ひとづくりに貢献し、地域の交通システムとして成長してきたプロセスが評価されたものです。



授賞式の様子 Youtube▶



特定非営利活動法人 ポロクル

※呼称 認定NPO法人ポロクル

2025年5月23日 発行



WEB SITE



2024年度 事業レポート 認定NPO法人 ポロクル



自転車共同利用サービス(シェアサイクル)事業

2024年度実施概要(営業期間:4月7日-11月15日の223日間)

■ 自転車

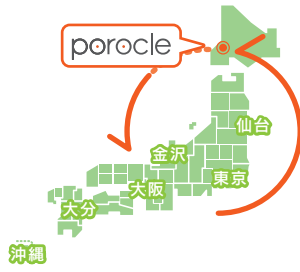
ポロクルの自転車は、安心のプリチストン製とヤマハ製。すべての自転車に電動アシスト機能が付いており、坂道や長距離の移動も楽にできるため、行動範囲が広がります。



	2022年度	2023年度	2024年度
自転車台数	約480台	約550台	約600台
ポート数	53カ所	57カ所	59カ所

■ 登録エリア以外での利用

ポロクルの会員が道外で利用したり、道外の会員がポロクルを利用したり、全国各地に広がる共通利用対象エリアでシェアサイクルが使えます。相互利用を通じて、シームレスな移動が実現しています。



■ ポート配置



■ 新規ポートの設置

ユーザーアンケートでのご要望も踏まえ、2024年度は7カ所にポートを新設しました。



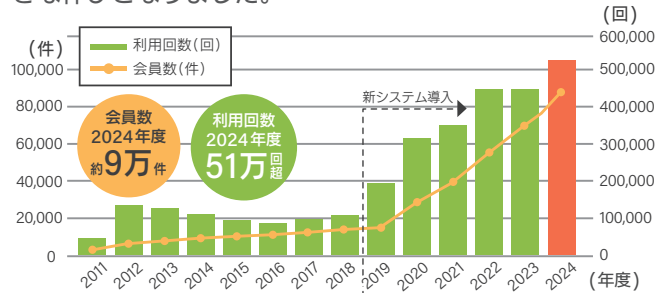
▲札幌駅北口さつきた 8・1 ポート
ユーザーのニーズが高い札幌駅北口方面にポートを新設。利便性が向上しました！

▲札幌三越ポート
都心部中通りの魅力向上に向けた社会実験に参画し、対象区間へポートを新設。放置自転車対策としても貢献しました！

● 2024年度実績 ●

■ 会員登録件数(累計)・利用回数(年別)

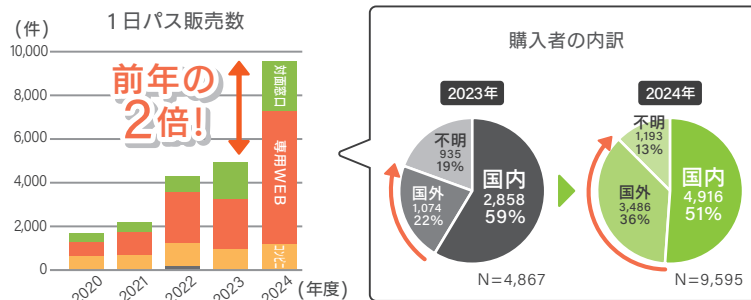
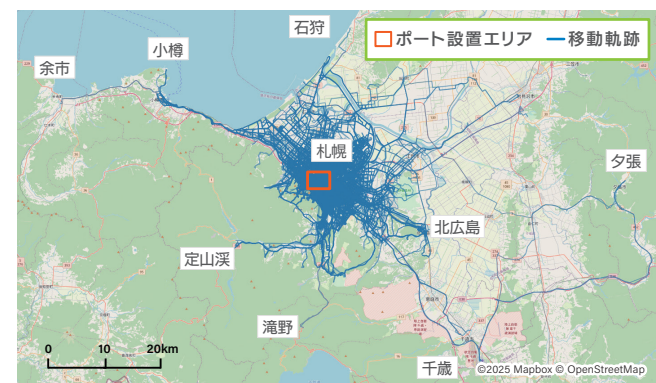
自転車台数やポートの増加に加え、気候に恵まれたことや、観光での利用も増えたことで、会員数・利用回数ともに大きな伸びとなりました。



■ 観光での利用状況

観光利用が多い「1日パス」の販売数は昨年度の約2倍の伸びとなりました。外国人の利用割合も大きく増加し、ポロクルWEBサイト内の1日パスのページや英語版の案内ページへのアクセス数も増えました。海外の方にも、札幌観光の移動手段の一つとしてポロクルが広く利用されています。

■ ポロクルの利用範囲(車載GPSによる移動軌跡)



自転車のルール・マナーや環境負荷低減に関する啓発活動

■ 自転車安全利用啓発活動

サイクルセーフティキャンペーン開会式に参加し、札幌駅南口において啓発品の配布やのぼり旗掲示を行いました。また、自転車の通行位置と方向を示す「矢羽根型路面表示」の周知啓発活動にも参加し、路線上のデモ走行やヘルメット着用の呼びかけを行い、自転車安全利用についての周知を行いました。



▲サイクルセーフティキャンペーンでの啓発活動 ▲矢羽根型路面表示啓発活動

■ 札幌市内の高校・大学等における連携

シェアサイクルを通じ、自転車安全利用や札幌の地域交通について考えるきっかけづくりの一つとして、札幌市内の高校や大学において、講義を行いました。また、道内外の複数の大学とシェアサイクルに関連する共同研究も継続して実施しています。



▲北海道札幌高等学校 ▲札幌龍谷学園高等学校

■ ヘルメットの着用促進に向けた取組

■ 主に札幌市民へ向けた取組

自転車安全利用の啓発も行っているイオン北海道株式会社と連携し、会員限定でヘルメットを特別価格で購入できるキャンペーンを実施しました。また、利用者だけでなく、市民の安全意識の向上に繋げることを目的に車体に広告も掲出しました。

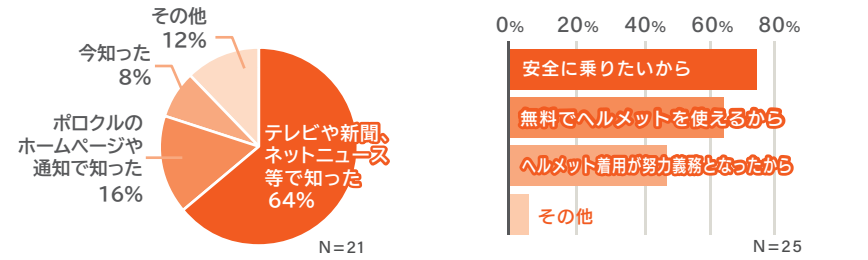


▲あんぜん応援割の告知 ▲キャンペーン広告

■ 観光客へ向けた取組

北海道さっぽろ観光案内所および提携ホテルと連携し、マイヘルメットの持参が難しい観光目的の利用者へのヘルメット無料貸出を行いました。

Q.2023年4月1日から自転車利用者へヘルメット着用努力義務が課せられたことを知っていましたか?
Q.ヘルメットの貸出を受けようと思ったきっかけは?
(あてはまるものすべて)



■ 水素社会の実現に向けた取組

トヨタ自動車北海道株式会社と共同で水素を原動力とするFC(燃料電池)アシスト自転車の試作品を開発し、イベントなどで展示発表しました。今後もポロクルを通じて、身近な水素の活用・普及促進を後押しし、札幌市が推進する持続可能なまちづくりの一環として、水素社会の実現に向け貢献していきます。



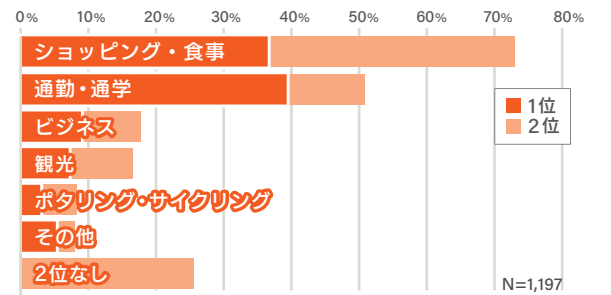
▲FCアシスト自転車 ▲BICYCLE-E・MOBILITY EXPO 2024



▲第9回全球エネルギー水循環プロジェクト国際会議 ▲青少年科学館 秋のスペシャルウィーク

● ポロクル2024利用者アンケート ●

Q.ポロクルを利用する目的の1位と2位は?



Q.ポロクル利用があなたに与える影響は?

